

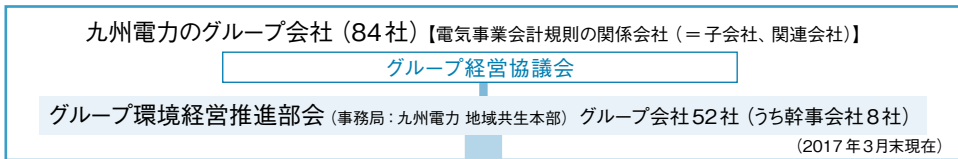
# II. グループ会社の環境経営

九州電力のグループ会社では、地球温暖化の防止や循環型社会の形成などを企業の社会的責任と認識し、九州電力グループ一体となって環境経営を推進するとともに、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。

## グループ環境経営推進部会



詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照) > [九電グループ紹介](#)



### エネルギー関連事業 (29社)

〔 ● 幹事会社 〕



#### 設備の建設・保守 (11社)

- |                                     |  |  |   |
|-------------------------------------|--|--|---|
| <input type="radio"/> 九州林産 (株)      | <input checked="" type="radio"/> 九電産業 (株)    | <input type="radio"/> (株) プラスワイヤー        | <input type="radio"/> 西九州共同港湾 (株)       |
| <input type="radio"/> (株) 九電ハイテック   | <input checked="" type="radio"/> 西日本技術開発 (株) | <input type="radio"/> 西技測量設計 (株)         | <input checked="" type="radio"/> (株) 九建 |
| <input type="radio"/> 西日本プラント工業 (株) | <input type="radio"/> 西技工業 (株)               | <input checked="" type="radio"/> (株) 九電工 |   |



#### 資機材等の調達 (7社)

- |   |  |                                 |                                   |
|---|--|---------------------------------|-----------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> 九電テクノシステムズ (株) | <input type="radio"/> 九州高圧コンクリート工業 (株) | <input type="radio"/> (株) キューヘン | <input type="radio"/> 西日本電気鉄工 (株) |
| <input type="radio"/> 西日本空輸 (株)                 | <input type="radio"/> 光洋電器工業 (株)       | <input type="radio"/> 誠新産業 (株)  |                                   |



#### 電気の卸供給 / エネルギー事業 (11社)

- |                                      |   |  |                                      |
|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> 戸畑共同火力 (株)     | <input type="radio"/> 北九州エル・エヌ・ジー (株)           | <input type="radio"/> 長島ウインドヒル (株)       | <input type="radio"/> (株) 福岡クリーンエナジー |
| <input type="radio"/> 大分共同火力 (株)     | <input checked="" type="radio"/> 西日本環境エネルギー (株) | <input type="radio"/> (株) 福岡エネルギーサービス    | <input type="radio"/> 九州冷熱 (株)       |
| <input type="radio"/> 大分エル・エヌ・ジー (株) | <input type="radio"/> 九電みらいエナジー (株)             | <input type="radio"/> みやざきバイオマスリサイクル (株) |                                      |



### 情報通信事業 (5社)

- |                                       |  |                               |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|
| <input type="radio"/> (株) QT net      | <input checked="" type="radio"/> ニシム電子工業 (株) | <input type="radio"/> (株) コアラ |
| <input type="radio"/> (株) キューデンインフォコム | <input type="radio"/> 九電ビジネスソリューションズ (株)     |                               |



### 環境・リサイクル事業 (2社)

- |                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> (株) ジェイ・リライツ | <input type="radio"/> 記録情報マネジメント (株) |
|------------------------------------|--------------------------------------|



### 生活サービス事業 (16社)

- |   |  |  |                                   |
|---|--|--|-----------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> (株) 電気ビル | <input type="radio"/> (株) キューデン・グッドライフ福岡浄水 | <input type="radio"/> 九州高原開発 (株)         | <input type="radio"/> 伊都ゴルフ土地 (株) |
| <input type="radio"/> (株) キューデン・グッドライフ    | <input type="radio"/> (株) 九電ビジネスフロント       | <input type="radio"/> (株) 九電シェアードビジネス    |                                   |
| <input type="radio"/> (株) キューデン・グッドライフ東福岡 | <input type="radio"/> 九電不動産 (株)            | <input type="radio"/> (株) 九州字幕放送共同制作センター |                                   |
| <input type="radio"/> (株) キューデン・グッドライフ熊本  | <input type="radio"/> (株) 九電オフィスパートナー      | <input type="radio"/> (株) オークパートナーズ      |                                   |
| <input type="radio"/> (株) キューデン・グッドライフ鹿児島 | <input type="radio"/> 九州メンテナンス (株)         | <input type="radio"/> 九州住宅保証 (株)         |                                   |

### 環境活動実績 (P42~P47) 集約の考え方

- 各環境活動実績は、集計対象のグループ会社のうち、実績の把握が可能なるすべての会社 (下表) の集計値です。(九州電力は含まない)
- 四捨五入の関係上、合計値及び百分率が合わないことがあります。
- 購入電力に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表された「電気事業者別CO<sub>2</sub>排出係数」を用いて算出しています。

#### 環境活動実績の集計対象

2014年度	2015年度	2016年度
グループ環境経営推進部会 全53社	グループ環境経営推進部会 全52社	グループ環境経営推進部会 全52社

## 用語集をご覧ください

- 環境経営
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 事業者別 (CO<sub>2</sub>) 排出係数



- ① 地球環境問題への取組み ..... 43
- ② 循環型社会形成への取組み ..... 44
- ③ 地域環境の保全 ..... 45

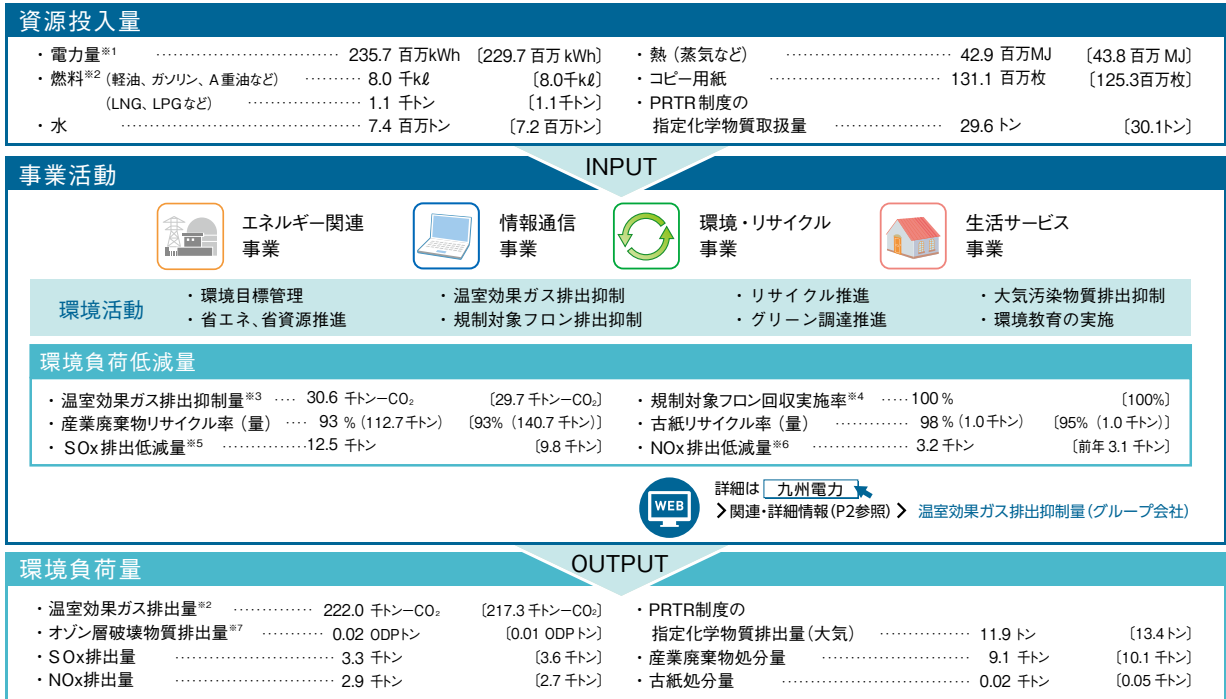


- ④ 社会との協調 ..... 46
- ⑤ 環境管理の推進 ..... 47



## 事業活動と環境負荷の状況

下図は、グループ会社での資源や資材の投入から、事業活動を経てどのような環境負荷が発生しているかを表したものです。今後も、この現状を踏まえ、更なる環境負荷低減に努めていきます。



(注) [ ] 内は2015年度の実績値。実績集約の考え方については、P.41 参照。  
 ※1: 発電所内電力量等を除く購入電力量を計上。 ※2: 電力会社等への販売電力量分(発電用燃料及びその燃焼に伴う排出量)を除く。 ※3: グループ会社が事業所に設置した太陽光発電設備等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。 ※4: 点検時において法令基準レベル(撤去時における法定圧力)までガス回収を実施した機器の割合。 ※5: ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。 ※6: ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。 ※7: 各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。



## 環境目標と実績

主要な環境活動について目標を定め、環境負荷の継続的な低減に努めています。

項目	単位	実績			2016年度環境目標	2017年度環境目標	
		2014年度	2015年度	2016年度			
地球環境問題への取組み	オフィス電力	使用量	23.5	22.8	23.5	—	
		単位面積あたり使用量	90.1	86.7	89.4	91 程度	89 程度
	自家物流輸送(特殊車両等を除く)	低公害車導入比率 <sup>*1</sup>	67.9	68.9	69.6	68 以上	69 以上
		燃料消費率(燃費)	11.3	11.1	11.2	11.0 以上	11.0 以上
	SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄)回収率	機器点検時	99	99	実績なし <sup>*2</sup>	98 以上	98 以上
		機器撤去時	100	100	実績なし <sup>*2</sup>	99 以上	99 以上
	機器点検時の規制対象フロン回収実施率	%	100	100	100	100	
用紙使用量 <sup>*3</sup>	百万枚	127.7	125.3	131.1	事務用紙使用量の節約	事務用紙使用量の節約	
上水	使用量	140.5	139.9	144.8	—	—	
	一人あたりの使用量	13.1	12.9	12.9	14 以下	14 以下	
循環型社会の取組み	リサイクル率	産業廃棄物	96	93	93	95 以上	95 以上
		石炭灰	100	100	100	100	100
		石炭灰以外	80	76	74	80 以上	80 以上
		古紙	97	95	98	93 程度	93 程度
グリーン調達率	%	87	86	87	86 程度	86 程度	
地域環境の保全	火力発電電力量あたりのSOx排出量	g/kWh	0.20	0.34	0.32	0.3 程度	0.3 程度
	火力発電電力量あたりのNOx排出量	g/kWh	0.25	0.26	0.27	0.3 程度	0.3 程度

※1: 電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)、ハイブリッド車及び低燃費車のグループ会社保有車両総台数に占める割合。  
 ※2: 設備は保有しているが、機器の点検や撤去の実績がないもの。 ※3: 用紙使用量はA4サイズ換算枚数。  
 (注) 実績集約の考え方については、P.41 参照。



詳細は [九州電力](#)   
 > 関連・詳細情報 (P2参照) > [オフィス電力・自家物流輸送\(グループ会社\)](#)

### 用語集をご覧ください

- 地球環境問題
- 循環型社会
- LNG(液化天然ガス)
- LPG(液化石油ガス)
- PRTR(制度)
- 指定化学物質
- 温室効果ガス
- 規制対象フロン
- グリーン調達
- 産業廃棄物
- リサイクル率
- SOx(硫黄酸化物)
- NOx(窒素酸化物)
- オゾン層破壊物質
- 所内電力(量)
- ばい煙
- 脱硫処理
- 低硫黄燃料
- 脱硫処理
- フロン
- オゾン層破壊係数
- CFC-11(トリクロロフルオロメタン)
- 自家物流輸送
- 低公害車
- SF<sub>6</sub>(六フッ化硫黄)
- 上水
- 石灰灰
- 電気自動車
- プラグインハイブリッド車
- 低燃費車
- 大気汚染物質



# ① 地球環境問題への取り組み

## 1. 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ・低炭素活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2016年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2015年度より減少しました。また、設備の経年劣化によるHFCの排出量が増加したため、CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスの排出量は増加しました。

WEB 詳細は九州電力 > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> 温室効果ガスの排出量の詳細実績 (グループ会社)

### 《 温室効果ガス排出量 》

単位：千トン-CO<sub>2</sub>

	2014年度	2015年度	2016年度
CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)*1	153.3	147.4	139.9**2
CH <sub>4</sub> (メタン)*1	0.1	2.7	0.0
N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素)*1	0.0	0.0	0.0
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	87.6	67.1	82.1
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄)	0.0	0.0	0.0
合計	237.2	217.3	222.0

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

\*1：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料の燃焼に伴う排出量)を除く。

\*2：2016年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(調整後)を使用して試算。

### 《 各種エネルギー使用量 》

	単位	2014年度		2015年度		2016年度		
		会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量	
電力	オフィス	百万kWh	42	23.5	41	22.8	41	23.5
	工場等	百万kWh	33	181.1	33	206.9	33	212.2
燃料	車両等 ガソリン等	千kl	45	6.9	45	6.7	45	6.9
	冷暖房用	千kl	7	0.1	8	0.3	8	0.3
	工業用 A重油等	千kl	12	1.2	10	1.1	9	0.8
	LNG, LPG	千トン	7	1.2	7	1.1	7	1.1
熱	蒸気等	百万MJ	3	42.4	3	43.8	3	42.9

※：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料)を除く。

## 再生可能エネルギーの積極的な開発・導入

九電みらいエナジー(株)では、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な導入・活用を進めています。具体的には、2016年6月から熊本県山都町では、鴨猪川から取水するかんがい水路を利用し発電を行う鴨猪水力発電所(出力1,990kW、2018年7月運転開始予定)や、2016年8月から鹿児島県指宿市では、当社が所有する山川発電所で使用し温度が下がった熱水を再利用する山川地熱バイナリー発電所(出力4,990kW、2018年2月運転開始予定)の建設を、それぞれ開始しました。

また、西技工業(株)は、佐賀県鹿島市において県営中木庭ダムの放流水を利用し発電する中木庭発電所(出力196kW)の営業運転を2016年5月に開始しました。この取り組みにより、2016年度は約580トン\*のCO<sub>2</sub>排出量を抑制しました。

※：2016年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(調整後)を使用して試算。

### 《 設備導入状況 》

項目	会社数	総設備容量[kW]
太陽光発電	10	72,780
風力発電	3	64,390
地熱発電	1	5,000
水力発電	1	350
バイオマス発電	1	11,350
廃棄物発電	1	29,200
合計	17	183,070

### 《 設備導入・開発に取り組む会社(青文字は設備導入会社) 》

太陽光発電(12社)*1 ●西日本フロンティア工業(株) ●京隆アスティス太陽光発電(株) ●(株)九電工 ●九電テクノシステムズ(株) ●光洋電器工業(株)*2 ●(株)キューヘン*2 ●誠新産業(株) ●九電みらいエナジー(株) ●ニシム電子工業(株)*2 ●(株)電気ビル ●(株)キューデン・グッドドライブ東福岡 ●九電不動産(株)*2	風力発電(9社)*1 ●西日本フロンティア工業(株) ●鷲尾岳風力発電(株) ●奄美大島風力発電(株) ●西日本技術開発(株) ●(株)九電工 ●誠新産業(株) ●九電みらいエナジー(株) ●長島ウインドビル(株) ●串間ウインドビル(株)	廃棄物発電(1社) ●(株)福岡クリーンエナジー
	バイオマス発電(4社)*1 ●西日本フロンティア工業(株) ●(株)九電工 ●九電みらいエナジー(株) ●みやざきバイオマスリサイクル(株)	水力発電(3社) ●西日本技術開発(株) ●西技工業(株) ●九電みらいエナジー(株)
		地熱発電(2社) ●西日本フロンティア工業(株) ●九電みらいエナジー(株)

\*1：グループ会社の子会社を含む。

\*2：九州電力の研究設備として設置。

## 2. オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類の回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制にグループ一体となって取り組んでいます。

2016年度の保有量については、機器の更新等はあったものの、2015年度と同程度となっています。

### 《 オゾン層破壊物質保有量等 》

単位：kg

		2014年度		2015年度		2016年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	5	6,900	6	6,900	6	7,300
	排出量		0		0		0
HCFC	保有量	24	64,700	23	64,100	23	63,000
	排出量		1,400		400		1,000
ハロン	保有量	7	6,000	8	6,100	8	5,000
	排出量		0		0		0

単位：ODPkg

オゾン層破壊物質排出量\* 30 10 20

※：各フロン類のオゾン層破壊係数ODP値を用いて、CFC-11重量相当に換算。

### 用語集をご覧ください

- 温室効果ガス
- エコドライブ
- HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- CH<sub>4</sub>(メタン)
- N<sub>2</sub>O(一酸化二窒素)
- PFC(パーフルオロカーボン)
- SF<sub>6</sub>(六フッ化硫黄)
- 再生可能エネルギー
- オゾン層
- フロン
- CFC(クロロフルオロカーボン)
- HCFC
- (ハイドロ)クロロフルオロカーボン
- ハロン
- オゾン層破壊物質
- オゾン層破壊係数
- CFC-11(トリクロロフルオロメタン)



## ② 循環型社会形成への取組み

### 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

廃棄物については、リサイクル率を目標に設定し、その維持・向上にグループ一体となって努めています。

2016年度の産業廃棄物については、発電所から排出される石炭灰の減少により、発生量は減少しましたが、リサイクル率は93%となり、目標である95%を下回りました。これは、リサイクル処理が困難な特別管理産業廃棄物の発生量が増加したことによるものです。

事務用品等については、環境負荷の少ない物品を優先して調達・購入するグリーン調達に努めています。

#### 《 廃棄物の発生状況 》

		2014年度		2015年度		2016年度				
		単位	会社数	実績	会社数	目標	実績	会社数	目標	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	39	161.0	38	—	150.8	38	—	121.8
	リサイクル率	%		96		95以上	93		95以上	93
古紙	発生量	千トン	47	1.1	46	—	1.0	44	—	1.0
	リサイクル率	%		97		93程度	95		93程度	98

WEB 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> 産業廃棄物の種類ごとの発生量及びリサイクル量の実績 (グループ会社)

### 環境・リサイクル事業

九州電力グループでは、環境・リサイクル事業として、(株)ジェイ・リライツが使用済蛍光管・乾電池のリサイクル事業を、記録情報マネジメント(株)が機密文書の機密抹消・リサイクル事業を、九電テクノシステムズ(株)が電力量計のリユース事業をそれぞれ実施しています。

記録情報マネジメント(株)は、従来、シュレッダー・焼却処分されていた機密文書の機密抹消・リサイクルを行う事業をはじめ、再生コピー用紙、トイレトペーパーなどのグリーン製品の製造・販売や文書類の保管事業を行っています。2016年度は、九州電力グループの機密文書を約1,400トンリサイクルしました。

また、九電テクノシステムズ(株)では、60年以上にわたって蓄積してきた電力量計の製造・修理技術と徹底した品質管理をもとに、電力量計の再利用(リユース)を実施しています。スマートメーター等に交換し取外した機械式電力量計のうち、腐食や損傷等が軽微なものについては、自社工場で修理し、ビル等で使用される電気子メーター(証明用電力量計)として再販することで原材料や廃棄物の削減を図っています。なお、再利用した電力量計は、電気子メーターとしては、初めて「エコマーク認定」を受けており、今後も環境にやさしく持続可能な社会の実現に向けた技術開発に取り組んでいきます。



電気子メーター  
(証明用電力量計)

#### 《 九電テクノシステムズ(株)の電力量計リユースの流れ 》



WEB 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> 環境リサイクル事業 ((株)ジェイ・リライツ、記録情報マネジメント(株))

用語集をご覧ください

- 循環型社会
- リサイクル率
- グリーン調達
- ゼロエミッション
- 産業廃棄物



## ③ 地域環境の保全

### 1. 環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の2016年度の取扱量等については、2015年度より減少しました。排出量の大半は、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレン、トルエン及びエチルベンゼンが占めています。

また、PCB廃棄物は、PCB含有が確認された使用済の照明用安定器43台について、適切に無害化処理を行いました。



詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取扱量等実績・  
発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績(グループ会社)

#### 《 PRTR制度における指定化学物質の取扱量等 》 単位:トン

	2014年度		2015年度		2016年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		39.8		30.1		29.6
排出量(大気)	7	20.0	8	13.4	8	11.8
移動量		100.1		74.1		82.7

(注) 事業所における年間取扱量1トン以上の第1種指定化学物質(特定第1種指定化学物質は0.5トン以上)について集計(法に基づく届出値を集計)。

#### 《 PCB廃棄物の保有状況等(2016年度) 》 単位:台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	—	—
コンデンサ	—	—	—	—
安定器	1	43	—	—
合計	1	43	—	—

#### 《 大気汚染物質の排出量 》 単位:千トン

	2014年度		2015年度		2016年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		2.1		3.6	4	3.2
NOx排出量	4	2.9	4	2.7	4	2.7

(注) ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

### 2. 森林の管理

九州林産(株)では、九州電力の社有林管理方針に基づくゾーニング施業(森林の機能・特性に応じた区分管理)や、FSC森林管理認証(適切に管理された森林に与えられる世界認証)の原則を遵守し、日々適切な森林管理に励んでいます。

なかでも、社有林管理方針・FSC森林管理認証の原則に共通する「生物多様性の保全」に対しては、施業前後に環境への影響度評価を必ず行うなど、美しい森林環境を将来に確実に引き継げるよう努めています。

また、社有林内に生息する希少植物やミヤマキリシマの群落に対する植生調査や巡視活動を定期的に行い、保全活動の拡充に向けた情報の蓄積・分析にも取り組んでいます。



希少種の株数・開花量等調査(植生調査)の様子



#### 私の環境アクション

くじゅう九電の森における環境教育に「生物多様性」の視点も織り込み、九電グループの環境価値向上に努めていきます。

九州林産(株) 林業部  
森林経営グループ  
ふじき わたる  
藤木 渉



当社では、九電みらい財団とともに、九州電力の社有林「くじゅう九電の森」(大分県由布市)において、次世代を対象とした環境教育を展開しています。ここでは、森の機能や役割、森と水と電気の関わりについて学び、学んだことを豊かな自然環境の中で体感する機会を設けています。

2016年度は、計19回開催し738名の方に参加いただきました。参加者から「また来たい!」、「とても勉強になった。」との感想を頂戴し、とてもやりがいを感じました。

今後は、健全な森の指標となる「生物の多様性」の視点をプログラムに織り込み、子ども達が生き物を通して「くじゅう九電の森」の豊かさを身近に感じ、森に関する理解がより深まるよう努め、九電グループの環境価値向上に貢献していきたいと考えています。

#### 用語集をご覧ください

- PRTR(制度)
- 大気汚染物質
- SOx(硫黄酸化物)
- FSC(森林管理協議会)
- キシレン
- 指定化学物質
- NOx(窒素酸化物)
- 森林管理認証
- トルエン
- PCB(ポリ塩化ビフェニル)
- 社有林



## ④ 社会との協調

### 1. 環境コミュニケーションの推進

グループ会社での環境活動情報については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても公開しています。

グループ会社においても、各社のホームページで環境活動に関する情報の公開に取り組んでいます(2017年3月末現在グループ環境経営推進部会参加の52社中、35社で公開)。



詳細は [九州電力](#)  
> 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電グループ環境経営



### 九州電力グループの環境活動の見学

(株)ジェイ・リライツでは、北九州市が取り組んでいる「北九州エコタウン事業」に参画しており、一般の方を対象とした蛍光管リサイクル事業の見学会を実施しています。

2016年度は約4,500名という多くの方が見学に訪れるなど、環境コミュニケーションを図る機会として活用しています。



(株)ジェイ・リライツ工場見学

### 2. 地域における環境活動の推進

九州電力が実施している環境活動への参加やグループ各社独自の地域清掃活動の実施など、地域における環境活動に積極的に取り組んでいます。

2016年度については、九州電力が主催している「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」(福岡県北九州市)や「九電の森ひとよし」(熊本県人吉市)、「油木ダム植樹区域」(福岡県田川郡)の植樹・育林活動に、グループ会社からも81名がボランティアとして参加しました。



「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」(福岡県北九州市)

用語集をご覧ください

- 環境コミュニケーション
- 環境経営



## ⑤ 環境管理の推進

### 1. 環境マネジメントシステム (EMS) の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(九電グループにおけるEMS構築基準)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

#### 《 EMS構築状況(2017年3月末現在) 》

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001 認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	2
第5段階	ISO14001 認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	6
第4段階	ISO14001 準拠	6
	エコアクション21 (EA21) 認証取得	6
第3段階	ISO簡易システム	9
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	16

(注) 第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定):5社。  
第1段階のEMSを構築中:2社。

### 2. 環境に関する法規制遵守の状況

グループ会社において、2016年度に主要な環境関連の法令等に基づく改善勧告・命令や罰則の適用を受けた事例はありません。

今後も引き続き、法令遵守はもとより、企業倫理にのっとった公正で透明性の高い事業活動を推進していくとともに、地元自治体と締結している環境保全協定等についても厳正に遵守していきます。

### 3. 環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、環境活動コストを集約しています。

単位:百万円

	投資額		費用額	
	2015	2016	2015	2016
環境活動の実施に伴うコスト	210.2	415.9	5,554.5	4,033.0



詳細は [九州電力](#)  
> 関連・詳細情報 (P2参照) > [グループ会社環境会計](#)

### 4. 社外からの表彰等

#### 《 社外からの表彰等(2016年度) 》

表彰名	対象	実施団体	受賞年月	
第30回 技術振興賞	西日本技術開発㈱	(社) 空気調和・ 衛生工学会	2016年5月	
	㈱九電工			
エコアクション21 環境活動レポート大賞・ 九州	九州環境 カウンセラー 協会特別賞	九州林産㈱	NPO 法人 九州環境カウンセラー協会	2016年11月
環境コミュニケーション大賞 (環境活動レポート部門)	優秀賞	九州林産㈱	環境省、(一財)地球・ 人間環境フォーラム	2017年2月
	優良賞	光洋電器工業㈱		



環境コミュニケーション大賞表彰式(九州林産(株))

#### 用語集をご覧ください

- 環境マネジメントシステム(EMS)
- ISO14001
- ISO14001準拠
- エコアクション21
- ISO簡易システム
- 環境保全協定
- 環境会計
- 環境活動コスト